

今週のみことば

今週の御言葉 「彼の言うことを聞きなさい」

(出エジプト記24章3節～11節)

「そこで、モーセはその血を取って、民に注ぎかけ、そして言った。『見よ、これは、これらすべてのことばに関して、主があなたがたと結ばれた契約の血である。』」(24:8)。

(マタイの福音書17章1節～13節)

「彼がまだ話している間に、見よ、光り輝く雲がその人々を包み、そして、雲の中から、『これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞きなさい。』という声がした。」(17:5)。

今日のメッセージ要旨

◎主イエス様の神性が顕わされ、その光景に接した弟子たちはどんなに驚き、畏れを覚えたことでしょう。

◎出エジプト記24章の命題は「契約の批准式」です。主なる神様の側からの働きとそれに対する民の応答により成立するのです。主なる神様が名指してご自身の近くに来るように言われた者はイスラエルの指導者たちで、神様との契約の食事に招かれたのです(11)。この中でモーセだけが主のみ許に近づくことが許され、モーセは民に「主のことばと定め」とを告げ(3)、民は「主の定められたことはみな行います」と応答した。更に祭壇が築かれ、12の石の柱を立てた(4、創31:45、ヨシュア4:20, 24:27)。そこで「全焼のいけにえ」と「和解のいけにえ」がささげられ、そこで流された血が祭壇と民に注がれることにより、契約が正式に成立する。

いけにえのいのちと引き換えに人は神に近づくことが出来る。キリストはご自分が流された血によって新しい契約の仲介者となられたのです(ヘブル9:11～22)。モーセはヨシュアを従えて民の応答を携えて山に登り(12, 13)、神の戒めを受けたのです(15～18)。

◎マタイの福音書17章1～13節の平衡記事=マルコ9章2-13節、ルカ9章28-36節。

主イエス様は三人の弟子たち(ペテロ、ヤコブ、ヨハネ)を連れて「祈る」ために高い山に登られ、祈っておられる時に「御姿が変わり、御顔は太陽のように輝き、御衣は光のように白くなった」のです。これは主イエス様の神性の顕示であり、黙示録には顕著に啓示されております(1:14, 16)。そこにモーセとエリヤが現れ、イエス様と交わっていたのです。モーセは旧約の律法の代表であり、エリヤは預言者の代表であり、「栄光のうちに現われて、イエスがエルサレムで遂げようとしておられるご最期についていっしょに話していたのである」(ルカ9:31)。

イエス御自身が律法の完成者であり、預言されているメシヤ(救い主)であり、十字架によって成し遂げられる贖いについての会話であった。3人は後でその意味を知ったのです(Ⅱペテロ1:16～18)。その時ペテロは「先生。私たちがここにいることは、素晴らしいことです。もし、およろしければ、私が、ここに三つの幕屋を造ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ」と告げましたが、これは主イエス様の苦難を避けさせる出来事に繋がることであり、神様の御心を理解していない発言でした。

主イエス様はエルサレムへの旅を始めるにあたり、神の御子が死ぬ、それは勝利と人々の救いへと続く神様ご計画などと教えられた(9)。弟子たちには理解できなかったのです。神様は受洗の時と同じ言葉を主イエス様に語られ、弟子たちに「彼の言うことを聞きなさい」と命じられた。主イエス様は「エリヤはすでに来たのだ」と語り、ご自分の身に起こることを知らされ、復活の後にこの出来事を告げるようにと諭されたのです。

「信仰は聞くことから始まり、聞くことはキリストについてのみことばによるのです」(ローマ10:17)。聖書のみ言葉を通してキリスト様に聞く者でありたい。